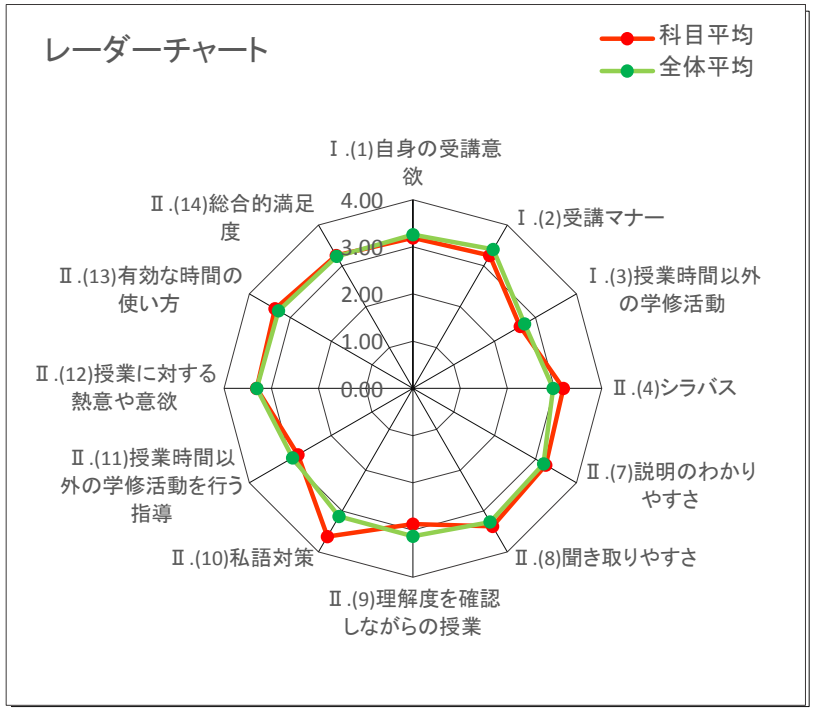
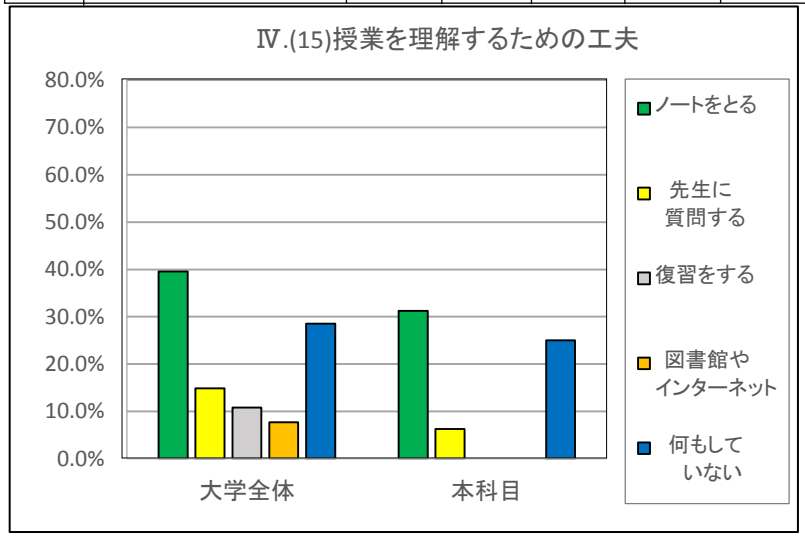
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.19	3.26
	Ⅰ.(2)	3.25	3.40
	Ⅰ.(3)	2.63	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.19	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.25	3.20
	Ⅱ.(8)	3.38	3.27
	Ⅱ.(9)	2.88	3.13
	Ⅱ.(10)	3.63	3.13
	Ⅱ.(11)	2.81	2.94
	Ⅱ.(12)	3.31	3.31
	Ⅱ.(13)	3.38	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.25	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	31.3%	6.3%	0.0%	0.0%	25.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.02	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.23	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.25	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	51101/51303/51351
科目名	環境化学の基礎/生活の中の化学
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスに関しては、全体平均以上であり、また、授業計画（シラバス）、教科書にそって講義を進めている。しかし、必ずしもその内容を十分理解した上で受講しているようではないとも思われる。シラバスは講義を選択する際に、重要な要素であるので、シラバスでも講義計画を十分に把握できるように、今後、記述について検討する必要があると思われる。本講義は、環境問題等に関する化学を中心に講義し、化学的な観点から環境を理解していく科目なので、日常生活の話題を取り入れて講義を行っているが、やはり理系的な要素が少なからず含まれているので、「難易度が高い」と感じる学生は多い様である。今後は、授業内容をもう少し平易にし、さらに分かりやすい説明や資料作成に努めたいと思っている。

②授業の進め方について

「説明のわかりやすさ」や「聞き取りやすさ」に関しては、全体平均とほぼ同等あるいはそれ以上の値となっている。しかし、「理解度の確認」に関しては、毎回、講義の冒頭において前回の講義の復習を行っているのにも係わらず、平均より少し低い値となっている。上記の様に、やはり理系的な要素が含まれるため根本的な難易度の高さが原因していると思われる。「私語対策」は、全体平均以上であり、かなり良い講義環境を維持できたと思われる。ただし、「授業時間以外の学修活動」やそれを促す指導が不足していると思われるので、講義後に取り組むことができるような分かりやすい・取り組み易い課題を提案できる様に努めたいと思っている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本講義では、「説明のわかりやすさ」や「聞き取りやすさ」に関しては、全体平均とほぼ同等あるいはそれ以上であり、ある程度は、難解な理系的な講義内容を分かりやすく説明できたと思われるが、「難易度」の観点からは、難易度が高い評価となっているので、今後は、授業内容をもう少し平易にし、さらに分かりやすい説明や資料作成に努めたいと思っている。私語の少ない講義環境を維持できており、本講義の環境の良さをうまく活用し、講義内での自発的な学習を促し、また、講義後に興味を持って取り組むことができるような分かりやすい・取り組み易い課題を提案できる様に努めたいと思っている。

奈良学園大学